

申込書(紙)による申込み・推薦

2023 年度海外大学進学予定者対象 第二種奨学金（海外）予約申込みに係る提出書類一覧

以下の書類を 学校が指定する期限までに 提出してください。

	書類	提出が必要な人	「貸与奨学金案内」の説明ページ
(1)	「申込みに係る重要事項確認」	申込者全員	スカラネット入力に代えて、記入します。
(2)	「申込書」[海外大学用] (記入例付)		
(3)	「奨学金振込口座届」		
(4)	【様式A】提出書類一覧表		44 ページ
(5)	【様式B】確認書		25～26 ページ
(6)	【様式C】留学計画書		27～28 ページ
(7)	学校資料 (申込者作成の日本語訳添付)		29 ページ
(8)	【様式D】家計状況申告書		31 ページ
(9)	収入に関する証明書類		32～37 ページ
(10)	母子・父子世帯であることが確認できる証明書類 (住民票又は戸籍抄本)	特別控除の条件に該当し、控除を希望する人	38 ページ
(11)	障害のある方がいる世帯であることが確認できる証明書類 (障害者手帳のコピー等)		38 ページ
(12)	【様式J】単身赴任実費計算書 生計維持者が単身赴任していることが確認できる証明書類		38、40 ページ
(13)	【様式K】長期療養費計算書 長期に療養を必要とする人がいる世帯であることが確認できる証明書類 (領収書等)		39、41 ページ
(14)	災害等により長期にわたり収入減 (支出増) となった世帯の場合の証明書 (罹災証明書、領収書等)		39 ページ
(15)	在留資格・在留期限に関する証明書類	外国籍の人	5 ページ

※ スカラネット (インターネット) 入力による申込手続きは必要ありません。

「貸与奨学金案内」はインターネットを通じて申込手続きを行う人を想定して作成しています。そのため「貸与奨学金案内」の中にある「スカラネット」の記述については、「申込書」に適宜読み替えてください。

また、「様式集」の間に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙」は使用しません。

第二種奨学金(海外) 予約申込みに係る重要事項確認

奨学金の申込みにあたって、以下の事項を全て確認し、理解している場合は「はい」に を記入してください。

全ての項目にチェックが入っていない場合、奨学金の申請を受け付けることができません。

記入日 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

在籍(出身)学校名 _____ 申込者氏名 _____

貸与奨学金における確認事項	はい (理解している)
① 在学中の学業成績や家計状況が基準を満たさない場合、奨学金が受けられなくなることがあります。	<input type="checkbox"/>
② 奨学金貸与中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が遅れたり、止まったりする可能性があります。	<input type="checkbox"/>
③ 貸与奨学金はあなた本人に返還の義務があり、締め切り日までに返還誓約書を提出しなければなりません。提出しない場合、採用が取り消されます。また、借りる金額が大きいと返す時の負担も大きくなります。貸与金額は、月々必要となる金額をよく考えて選ぶ必要があります。	<input type="checkbox"/>
④ 奨学金の返還を延滞すると、延滞金が課されます。延滞が長くなると法的措置等が行われることがあります。また、奨学金の返還が困難になった場合は、願出により、毎月の返還額を1/2又は1/3に減額し返還期間を延長する「減額返還制度」や、一定期間返還期限を先延ばしする「返還期限猶予制度」を利用できる場合があります。	<input type="checkbox"/>

第二種奨学金（海外） 予約奨学金振込口座届

申込者 氏名	
-----------	--

いずれか片方を選んでご記入ください

ゆうちょ銀行以外の金融機関（普通預金口座に限る）							
金融機関名（カタカナ）			該当の金融機関に○		店名（カタカナ）		該当の数字に○
			銀行 労働金庫 信用金庫 信用組合				1 支店 2 出張所
金融機関番号	店番号	預金種目	口座番号(右づめで記入)			口座名義人（奨学生本人名義に限る）	
		1 普通 (総合)				フリガナ	氏名
						漢字	

ゆうちょ銀行（通常貯金口座に限る）				
記号		番号（右づめで記入）		口座名義人（奨学生本人名義に限る）
				フリガナ
1	0	1	漢字	

※ ゆうちょ銀行の「記号」「番号」は、通帳の見開きの最初のページ（表紙裏面）に記載されています。
 ※ ゆうちょ銀行の「番号」は右詰めで記入し、8桁に満たない場合は、頭に「0」をつけてください。

注意

- ◎ 取扱いが可能な金融機関は、日本国内の銀行（ゆうちょ銀行を含む）、信用金庫、労働金庫、信用組合（一部を除く）に限られています。
 外国銀行、インターネット専門銀行（楽天銀行、住信SBIネット銀行、ソニー銀行、PayPay銀行、auじぶん銀行等）、農協、信託銀行、その他一部の銀行（新生銀行、あおぞら銀行、セブン銀行、イオン銀行等）は利用できませんのでご注意ください。また、普通預金口座または通常貯金口座のみ使用可能で、貯蓄預金口座は使用できません。
- ◎ 「三菱UFJ銀行」以外の英字名称の金融機関は英字部分をカタカナで記入してください。
- ◎ 濁点、半濁点は1字とします。
- ◎ 本店に口座を設けた場合は「ホンテン」と記入してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

2023年度 第二種奨学金（海外） 予約申込書 [海外大学進学予定者用] 記入要領

※ 申込書は必ず申込者本人が記入してください。

表面

「海外入学予定学校」欄

【様式C】「留学計画書」の「1. 入学予定学校」に記入した内容に合わせ、奨学金の貸与を開始する学校を記入してください。

「学部・学科」欄は、中国・韓国・台湾等の学校で英語名がない場合は、日本語名を記入してください。

「連帯保証人」、「保証人」欄

連帯保証人及び保証人は、「貸与奨学金案内」（8～9 ページ）の選任条件をよく読み、条件に合致する人を選任してください。依頼する人によく説明して承諾を得たうえで、申込者本人が全ての項目にもれなく記入してください（連帯保証人、保証人自身が記入する必要はありません）。

裏面

「就学者を除く家族」欄

父母、就学前の弟妹、祖父母等、就学者に該当しない同一生計の家族を全員記入してください。父母については、【様式D】「家計状況申告書」に記入した生計維持者の収入金額、所得金額の合計を、それぞれ「収入金額」欄、「所得金額」欄に記入してください。※本欄を記入する前に、【様式D】「家計状況申告書」を作成する必要があります。

「就学者」欄

本人以外 の就学者を全員記入してください。就学者に該当するのは次の学校に在学している人です。

小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程、専門課程）、短期大学、大学、大学院

※以下は就学者に該当しません。

×科目履修生、×聴講生、×研究生、×一般課程の専修学校生、×各種学校生（予備校、職業訓練校）

「世帯人数」欄

本人を含む 同一生計の家族の人数を記入してください。

「就学者人数」欄

本人を含む 就学者人数を記入してください。

「特別控除額」欄

「イ」～「カ」で該当するものがあれば、控除額を記入してください。

※「イ」に該当する場合は、母子・父子家庭であることが確認できる証明書（住民票、戸籍抄本等）の提出が必要です。

※「ウ」～「カ」については証明書類の添付が必要です（「貸与奨学金案内」38～41 ページを参照してください）。

※「エ」「オ」「カ」については、その実費を記入してください。

訂正方法

記入を間違えた場合は、訂正箇所に二重線を引き、余白に記入し直してください。

2023年度 第二種奨学金(海外)予約 申込書 [海外大学進学予定者用]

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿		(西暦) 年 月 日	
私は、学位の取得を目的として留学するにあたり、貴機構の奨学金を申し込みます。本奨学金の貸与が認められた場合は、日本学生支援機構法施行令及びその他の諸規程等に定める規定を遵守し、返還することを確約します。なお、下記の記載事項に相違ありません。			
申込資格※		① 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程) 卒業(見込)者 ② 高卒認定合格者等 ③ 高専3年次修了(見込)者	
本人	氏名	フリガナ 性別(任意)※	① 男 ② 女
		生年月日	(西暦) 年 月 日
	(申込者本人自署)	T E L	- -
住所	〒 -	外国籍の方は在留資格	
	(国内住民票(除票)住所)	「定住者」の場合の永住意思	① あり ② なし
国内在学(出身)学校 (高卒認定合格者等は記入不要)			
学校名		学部・学科	
学種等※	① 大学 ② 短期大学	卒業(修了)年月※	(西暦) 年 月
	③ 専修学校(専門課程) ④ 高等専門学校		① 卒業(修了) ② 卒業(修了)見込 ③ 退学見込
⑤ 高等専門学校3年次			
高卒認定合格者等のみ記入※			
① 合格: 年 月 ② 科目合格: 年 月 ③ 出願済: 年 月			
海外入学(編入)予定学校			
学校名(日本語名)		学校名(英語名)	
学部・学科(英語名)	国・地域名	入学形態※	① 入学(1年次) ② 2年次編入 ③ 3年次編入 ④ 4年次編入
奨学金申込情報※			
希望貸与月額			
① 2万円 ② 3万円 ③ 4万円 ④ 5万円 ⑤ 6万円 ⑥ 7万円 ⑦ 8万円 ⑧ 9万円 ⑨ 10万円 ⑩ 11万円 ⑪ 12万円			
※希望する場合は金額にも1つ○をつけてください。			
入学時特別増額貸与奨学金を			
① 希望する (10万円・20万円・30万円・40万円・50万円) ② 希望しない			
利率の算定方法は			
① 利率固定方式 ② 利率見直し方式			
履歴情報 (これまでに日本学生支援機構の奨学金の貸与・給付を受けたことがある人は、すべての奨学生番号を記入してください)			
奨学生番号		①	②
連帯保証人	氏名	フリガナ	続柄 生年月日
			(西暦) 年 月 日
	住所	〒 -	電話番号(自宅) () □なし 携帯電話番号 () □なし
	勤務先	□ 無職	勤務先電話番号
保証人	氏名	フリガナ	続柄 生年月日
			(西暦) 年 月 日
	住所	〒 -	電話番号(自宅) () □なし 携帯電話番号 () □なし
	勤務先	□ 無職	勤務先電話番号

(注)必ず裏面も記入してください。

「同一生計の家族」欄を記入する前に、【様式D】「家計状況申告書」を作成してください。

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

同一生計の家族	続柄	氏名	年齢	所得の種類 ※	収入金額	所得金額	
	就学者を除く家族				給与・ <input type="radio"/> 自営・ <input type="radio"/> その他	万円	万円
				給与・ <input type="radio"/> 自営・ <input type="radio"/> その他	万円	万円	
				給与・ <input type="radio"/> 自営・ <input type="radio"/> その他	万円	万円	
				給与・ <input type="radio"/> 自営・ <input type="radio"/> その他	万円	万円	
				給与・ <input type="radio"/> 自営・ <input type="radio"/> その他	万円	万円	
就学者(本人を除く)	続柄	氏名	設置者 ※	就学先学校の種類 ※	通学別 ※		
			<input type="radio"/> 国公・ <input type="radio"/> 私立	<input type="radio"/> 小・ <input type="radio"/> 中・ <input type="radio"/> 高・ <input type="radio"/> 高専(1~3年次)・ <input type="radio"/> 高専(4年次以上)・ <input type="radio"/> 専修(高等)・ <input type="radio"/> 専修(専門)・ <input type="radio"/> 大学	<input type="radio"/> 自宅 <input type="radio"/> 自宅外		
			<input type="radio"/> 国公・ <input type="radio"/> 私立	<input type="radio"/> 小・ <input type="radio"/> 中・ <input type="radio"/> 高・ <input type="radio"/> 高専(1~3年次)・ <input type="radio"/> 高専(4年次以上)・ <input type="radio"/> 専修(高等)・ <input type="radio"/> 専修(専門)・ <input type="radio"/> 大学	<input type="radio"/> 自宅 <input type="radio"/> 自宅外		
			<input type="radio"/> 国公・ <input type="radio"/> 私立	<input type="radio"/> 小・ <input type="radio"/> 中・ <input type="radio"/> 高・ <input type="radio"/> 高専(1~3年次)・ <input type="radio"/> 高専(4年次以上)・ <input type="radio"/> 専修(高等)・ <input type="radio"/> 専修(専門)・ <input type="radio"/> 大学	<input type="radio"/> 自宅 <input type="radio"/> 自宅外		
			<input type="radio"/> 国公・ <input type="radio"/> 私立	<input type="radio"/> 小・ <input type="radio"/> 中・ <input type="radio"/> 高・ <input type="radio"/> 高専(1~3年次)・ <input type="radio"/> 高専(4年次以上)・ <input type="radio"/> 専修(高等)・ <input type="radio"/> 専修(専門)・ <input type="radio"/> 大学	<input type="radio"/> 自宅 <input type="radio"/> 自宅外		
世帯人数 (本人含む) _____人		就学者人数 (本人・就学前の弟妹含む) _____人					
特別控除額	ア. 本人の就学者控除 (一律74万円)					74	万円
	イ. 母子・父子世帯(18歳未満の子女及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等) (一律99万円)						万円
	ウ. 障害者のいる世帯(公害疾病認定を受けた人、常に就床を要する要介護者等) (一人につき99万円)						万円
	エ. 主に家計を支えている人が別居している世帯(別居による住居・光熱水費・家具等の実費)(71万円限度)						万円
	オ. 長期療養者のいる世帯(6ヶ月以上療養中の人または療養を必要とする人)						万円
	カ. 火災・風水害または盗難等の被害を受けた世帯(被害額または被害による支出増・収入減となる金額)						万円
	家庭事情	奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。生計維持者を「父又は母のいずれか1人」、「申込者本人1人(独立生計)」又は、「父母、申込者本人以外の1人」としている場合は、その事情を詳しく説明してください。					

学校記入欄 * 高卒認定合格者等、高専3年次修了(見込)者の場合、本欄の記入は不要です。

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

成績 ※	第二種奨学金の学力基準に <input type="radio"/> 該当する ・ <input type="radio"/> 該当しない
推薦所見	(特記すべきことがあれば記入してください)
<p>この学生は、貴機構の奨学生として人物、学力が推薦基準に合致していることを認め、推薦します。</p> <p>(西暦) 年 月 日</p> <p>独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿</p> <p>学校名 _____</p> <p>学校長名 _____</p> <p style="text-align: right;">(※押印不要)</p>	

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

記入例

親権者欄（表面）と学校記入欄（裏面）以外は、すべて申込者本人が記入してください。

2023年度 第二種奨学金(海外) 予約 申込書 [海外大学進学予定者用]

同一の住所を記入。
住民票(除票)と

記入日を記入。

日本国籍の場合は未記入で可。

連帯保証人は、原則として「様式B」確認書に記入した国内連絡者(父又は母)と同一人。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿		(西暦) 2022 年 8 月 1 日	
私は、学位の取得を目的として留学するに当たって、貴機構の貸与が認められた場合は、日本学生支援機構が定める諸規程等を遵守し、返還することを確約します。なお、下記の記載事項に相違ありません。			
該当するいずれかの申込資格を選択。 申込資格※ <input checked="" type="radio"/> ① 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程) 卒業(見込)者 <input type="radio"/> ② 高卒認定合格者等 <input type="radio"/> ③ 高専3年次修了(見込)者			
本人	フリガナ	ショウガク マナブ	性別(任意)※ <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女
	氏名	奨学 まなぶ	生年月日 (西暦) 2003 年 4 月 25 日
	(申込者本人自署)		T E L 03 - 0000 - 0000
住所	〒 162 - 0845	外国籍の方は在留資格	
	(国内住民票(除票)住所) → 東京都新宿区市谷本村町10-7	「定住者」の場合の永住意思	<input checked="" type="radio"/> ① あり <input type="radio"/> ② なし
国内在学(出身)学校 (高卒認定合格者等は記入不要)			
学校名	日本学生支援専門学校	学部・学科	外国語学科
学種等※	<input checked="" type="radio"/> ① 大学 <input type="radio"/> ② 短期大学 <input type="radio"/> ③ 専修学校(専門課程) <input type="radio"/> ④ 高等専門学校 <input type="radio"/> ⑤ 高等専門学校3年次	卒業(修了)年月※	(西暦) 2023 年 3 月 <input checked="" type="radio"/> ① 卒業(修了) <input type="radio"/> ② 卒業(修了)見込 <input type="radio"/> ③ 退学見込
高卒認定合格者等のみ記入※			
<input checked="" type="radio"/> ① 合格: 年 月 <input type="radio"/> ② 科目合格: 年 月 <input type="radio"/> ③ 出願済: 年 月			
海外入学(編入)予定学校			
学校名 (日本語名)	Aコミュニティカレッジ	学校名 (英語名)	A Community College
学部・学科 (英語名)	Transfer Course	国・地域名	アメリカ
	中国・韓国・台湾等の学校で英語名がない場合は、日本語名を記入。	入学形態※	<input checked="" type="radio"/> ① 入学(1年次) <input type="radio"/> ② 2年次編入 <input type="radio"/> ③ 3年次編入 <input type="radio"/> ④ 4年次編入
奨学金申込情報※			
希望貸付額	<input type="radio"/> ② 3万円 <input type="radio"/> ③ 4万円 <input type="radio"/> ④ 5万円 <input type="radio"/> ⑤ 6万円 <input type="radio"/> ⑥ 7万円 <input type="radio"/> ⑦ 8万円 <input checked="" type="radio"/> ⑧ 9万円 <input type="radio"/> ⑨ 10万円 <input type="radio"/> ⑩ 11万円 <input type="radio"/> ⑪ 12万円		
※希望する場合はどれか1つの金額に○をつけてください。			
入学時特別増額貸与奨学金を	<input checked="" type="radio"/> ① 希望する (<input type="radio"/> 10万円 ・ <input type="radio"/> 20万円 ・ <input checked="" type="radio"/> 30万円 ・ <input type="radio"/> 40万円 ・ <input type="radio"/> 50万円) <input type="radio"/> ② 希望しない		
利率の算定方法は	<input checked="" type="radio"/> ① 利率固定方式 <input type="radio"/> ② 利率見直し方式		
履歴情報 (これまでに日本学生支援機構の奨学金の貸与・給付を受けたことがある人は、すべての奨学生番号を記入してください)			
奨学生番号	<input checked="" type="radio"/> ① 820-08-000000 <input type="radio"/> ②		
連帯保証人	フリガナ	ショウガク マサル	続柄
	氏名	奨学 優	父
	(西暦) 1972 年 2 月 5 日		
住所	〒 162 - 0845	電話番号(自宅)	03 (0000) 0000 □なし
	→ 東京都新宿区市谷本村町10-7	携帯電話番号	080 (0000) 0000 □なし
勤務先	(株)奨学企画	<input type="checkbox"/> 無職	勤務先電話番号 03-1111-0000
保証人	フリガナ	キコウ アキコ	続柄
	氏名	機構 明子	おば
	(西暦) 1974 年 4 月 6 日		
住所	〒 135 - 8630	電話番号(自宅)	03 (1111) 0000 □なし
	→ 東京都江東区青海 2-2-1	携帯電話番号	090 (0000) 1111 □なし
勤務先	<input checked="" type="checkbox"/> 無職	勤務先電話番号	

「印鑑登録証明書」で登録している住所を記入。

例【同一生計の家族（6人）】

- 奨学 優（続柄：父、会社員）・・・生計維持者A
- 奨学 和実（続柄：母、無職・無収入）・・・生計維持者B
- 奨学 大（続柄：兄、大学生）
- 奨学 まなぶ（本人）
- 奨学 花（続柄：妹、中学生）
- 奨学 祖母子（続柄：祖母）

【生計維持者（A：父、B：母）の収入金額】

①生計維持者A 収入金額合計	②生計維持者A 所得金額合計	※【様式D】「家計状況申告書」より
A 412万円	A 0万円	
③生計維持者B 収入金額合計	④生計維持者B 所得金額合計	
B 0万円	B 0万円	

【様式D】「家計状況申告書」を作成後に
申込書裏面「同一生計の家族」欄を記入。
【様式D】「家計状況申告書」作成の仕方と、
必要な証明書類については、「貸与奨学金案内」
30～37ページを参照。

【生計維持者A（父）の収入金額】

申込時点の収入・状況			あてはまる	あてはまらない	必要な証明書	証明書に記載の金額	計算	収入	所得	
1. 給与を受けている	1-1. 2021年1月1日以前から同じ勤務先・雇用形態	1-1-1. 国内勤務	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	令和4年度所得証明書のコピー ※「給与収入金額（控除前の金額）」を記入	年額 A 4,000,000円	→ 転記	A 4,000,000円	
8. 公的手当	児童手当		A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	申込時点で受給している金額が記載された通知書等のコピー（受給証明書のコピーも可）	月額 A 10,000円	×12	A 120,000円	

【生計維持者B（母）の収入金額】

申込時点の収入・状況			あてはまる	あてはまらない	必要な証明書	証明書に記載の金額	計算	収入	所得	
9. 無収入	9-1. 2021年1月1日以前から無収入		B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	令和4年度所得証明書又は非課税証明書のコピー	年額 →		B 0円	

生計維持者（父母）の収入金額欄、所得金額欄は、【様式D】「家計状況申告書」（上図参照）に記入したそれぞれの合計金額を転記。

生計維持者A（父）
収入金額：給与収入400万円＋児童手当12万円＝412万円
所得金額（営業・農業・不動産等）：0円

記入例

続柄	氏名	年齢	所得の種類 ※	収入金額	所得金額
父	奨学 優	49	給与・自営・その他	412万円	0万円
母	奨学 和実	45	給与・自営・その他	0万円	0万円
祖母	奨学 祖母子	85	給与・自営・その他		
兄	奨学 大		小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学		自宅外
妹	奨学 花		小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学		自宅 自宅外

世帯人数（本人含む） 6人 就学者人数（本人・就学前の弟妹含む） 3人

特別控除額	金額
ア. 本人の就学者控除	(一律74万円) 74万円
イ. 母子・父子世帯	(一律99万円) 99万円
ウ. 障がい者のいる世帯	一人につき99万円
エ. 生計維持者が別居	71万円限度
オ. 長期療養者のいる世帯	
カ. 火災・風水害または盗難等の被害を受けた世帯	

家庭事情

奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。生計維持者を「父又は母のいずれか1人」、「申込者本人1人（独立生計）」又は、「父母、申込者本人以外の1人」としている場合は、その事情を詳しく説明してください。

本人、父母、就学者の兄弟姉妹以外に同一生計の家族がいる場合(祖母等)のみ記入。

生計維持者B（母）
※無職・無収入であっても、父母ともにいる場合は2人ともが生計維持者
※0円でも記入が必要（証明書類の提出も必要）

上記の同一生計の家族（5人）に、まなぶ（本人）を加えた人数を記入。

まなぶ（本人）、大（大学生の兄）、花（中学生の妹）の3人

生計維持者が「父母2人」とならない場合は、その事情について記入必須。

特別控除（ウ・カ）を希望する場合は、控除する額の証明書の提出が必要（貸与奨学金案内）38～41ページ参照